

2020年5月21日

三井化学株式会社

### 三井化学と国連環境計画（UNEP）、プラスチック廃棄物削減に貢献する アジアのスタートアップ企業を支援

三井化学株式会社（所在：東京都港区、代表取締役社長：橋本修）は、国連環境計画（United Nations Environment Programme／所在：ケニア、ナイロビ、事務局長：インガー・アンダーセン。以下、「UNEP」）が主催するスタートアップ支援プログラム「The Asia Pacific Low Carbon Lifestyles Challenge」に参画し、プラスチック廃棄物削減に貢献する、革新的なアジアのスタートアップ企業3社を選出しました。今後、当社グループはこの3社に対し、助成金(各社に1万ドル)を提供するとともに、UNEPと共同して技術指導・運営支援などに取り組んでいきます。



#### 「The Asia Pacific Low Carbon Lifestyles Challenge」とは

“プラスチック廃棄物削減”、“低炭素モビリティ”、“持続可能エネルギー”の3つのカテゴリにおいて、アジアのスタートアップ企業を広く募り、毎年10社程度を選定（今年は100社以上が応募）。当社を含むパートナー企業・団体とともに、選定企業へ助成金提供、技術指導・企業運営のアドバイスなどの支援を実施する取り組み。

UNEP プレスリリース：<https://www.unenvironment.org/news-and-stories/story/unep-start-challenge-winners-show-how-business-can-build-back-better-covid>

#### 今回選出したスタートアップ企業3社の概要

- AYA Cup(ベトナム)：[http://ayacup.com/en\\_gb/](http://ayacup.com/en_gb/)  
大学、イベント会場などで、リユース可能なカップの利用を支援するシステムを提供
- REMAKE HUB(中国)：<http://www.remakehub.co/>  
廃棄された漁網を回収し、サングラスフレームなどリサイクル製品を提供
- The Green Road(ブータン)：  
廃プラスチックを道路のアスファルト代替として利用し、低コストの舗装を提供

当社は、2018年4月にESG推進室を設置し、ESG要素を経営・事業戦略に積極的に取り込み、「環境と調和した共生社会」、「健康安心な長寿社会」の実現に向けてビジネスモデルの変革を進めています。プラスチックを中心とする製品・サービスを提供する化学企業として、気候変動とプラスチック問題は、真摯に取り組むべき重要な社会課題です。当社グループは、両問題への対応を一体の課題としてとらえ、循環経済の実現に取り組んでまいります。

**\*国連環境計画（United Nations Environment Programme（UNEP））とは**

1972年の国連総会決議に基づいて設立された団体。国連人間環境会議において採択された「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」を実施に移すための機関として、国連諸機関の環境に関する活動を総合的に調整管理し、国際協力を促進していくことを任務としている。設立以来、オゾン層保護のためのウィーン条約策定をはじめ、数多くの国際環境条約の交渉で主導的な立場を担っている。

以上

---

<本件に関する問い合わせ> 三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部（TEL：03-6253-2100）